

おたがいさま

「題字は温海デイサービスセンター愛寿園利用者の直筆です」



鼠ヶ関小学校6年生 “あったか弁当” 包装紙づくり



第 10 号

平成19年5月15日

編集・発行

社会福祉法人

鶴岡市社会福祉協議会

鶴岡市西新斎町14-26

TEL 0235-24-0053

FAX 0235-23-9110

温海福祉センターで行っている給食サービスの弁当の包装紙は、温海地域の各小学校の子供たちの手作りです。

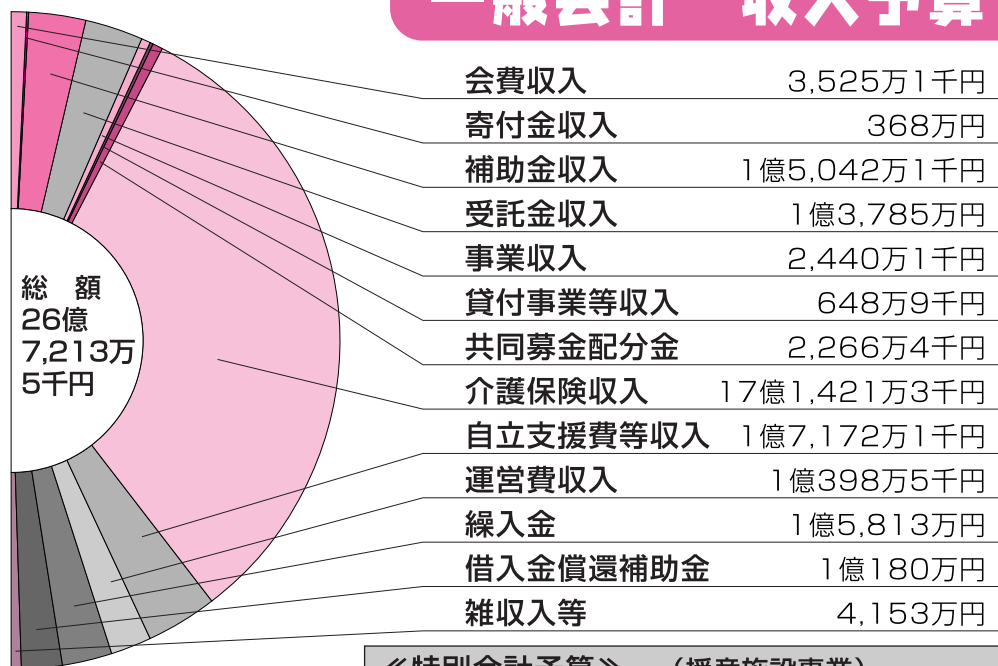
給食サービスは、ボランティア「あったかグループ」の手作り弁当を、一人暮らしの方々へ配食するサービスですが、子供たちの手作り包装紙により、楽しく華やかな弁当になります。

鼠ヶ関小学校6年生の子供たちは、受け取った人が喜ぶ弁当にしたいと、季節に合った花や食べ物を描き、和気あいあいとした雰囲気の中包装紙づくりに励んでいます。



平成十九年度 鶴岡市社会福祉協議会 事業計画・予算概要

一般会計 収入予算



＜特別会計予算＞（授産施設事業）

収入予算：38,625千円 支出予算：36,179千円

鶴岡市社会福祉協議会は、平成十七年十月に合併し三年目を迎えることになりました。

今年度は、地域福祉を推進する団体として、使命と役割を明確にし、誰もが安心、安全、心豊かなまちづくりを目指して事業を展開していきます。

★ 地域福祉の推進

地域福祉活動を総合的に推進するため、学区・地区社会福祉協議会・自治会等及び各種福祉団体との連携関係を深めていきます。

また、鶴岡福祉センターにおいては「コミュニティワーカー」を、各福祉センターにおいては「地域福祉委員会」を設置することで、地域の特性に応じた地域福祉事業を推進していきます。さらに、今年度は、合併後の「おだがいさまのまちづ

くり」を目指して、地域住民・福祉関係者が一同に集う「福祉のつどい（仮称）」を開催します。



東原町サロンの様子

★ ボランティアと福祉学習の推進

ボランティア活動の推進については、今年度より専任職員を配置します。さらに合併後のボランティアセ

ンターの適正な運営を図るため、ボランティアセンター運営委員会（仮称）を設置し、コーディネート・ボランティアスクール・啓発活動を推進します。

また、各関係団体と連携を図りながら、福祉学習補助金の交付、災害ボランティア講座の開催を広域的に実施します。



第一学区社協サマーボランティア体験の様子

一般会計 支出予算

一般会計 支出(本部支部別)再掲

(単位：千円)

本部運営事業	200,874
鶴岡支部運営事業	1,902,406
藤島支部運営事業	26,749
羽黒支部運営事業	29,103
櫛引支部運営事業	335,977
朝日支部運営事業	17,477
温海支部運営事業	107,978
合 計	2,620,564

一般会計 支出(科目別)再掲

(単位：千円)

科 目	金 額
1 人 件 費	1,781,850
2 事 務 費	309,769
3 事 業 費	223,725
4 貸 付 業 務 等	6,676
5 共 同 募 金 配 分 金	15,725
6 助 成 金	3,662
7 負 担 金	9,923
8 借 入 金 利 息	14,942
9 繰 入 金	158,067
10 固 定 資 産 取 得	6,640
11 借 入 金 償 還 等	88,535
12 予 備 費 等	1,050
合 計	2,620,564

一般会計 支出(事業別)

(単位：千円)

事 業	金 額
1 本 部 運 営 事 業	200,874
2 鶴 岡 地 域 福 祉 事 業	33,175
3 鶴岡地域福祉権利擁護事業	4,497
4 鶴岡たすけあい金庫貸付事業	2,608
5 鶴岡地域福祉センターなえび管理事業	1,449
6 鶴岡第二学区学童保育所運営事業	14,589
7 鶴 岡 高 齢 者 福 祉 事 業	12,491
8 鶴 岡 児 童 館 運 営 事 業	46,406
9 鶴 岡 在 宅 福 祉 事 業	53,676
10 鶴岡知的障害者通所更生事業	55,500
11 鶴 岡 障 害 者 福 祉 事 業	58,284
12 鶴 岡 居 宅 介 護 支 援 事 業	129,478
13 鶴 岡 通 所 介 護 事 業	585,529
14 鶴 岡 訪 問 介 護 事 業	320,051
15 鶴 岡 訪 問 入 浴 事 業	22,550
16 鶴岡特別養護老人ホーム事業	459,252
17 鶴 岡 老 人 短 期 入 所 事 業	102,871
18 藤 島 地 域 福 祉 事 業	26,749
19 羽 黒 地 域 福 祉 事 業	29,103
20 櫛 引 地 域 福 祉 事 業	38,820
21 櫛 引 高 齢 者 福 祉 事 業	1,624
22 櫛 引 居 宅 介 護 支 援 事 業	27,468
23 櫛 引 通 所 介 護 事 業	90,807
24 櫛 引 訪 問 介 護 事 業	21,538
25 櫛 引 保 育 園 運 営 事 業	130,780
26 櫛 引 児 童 館 運 営 事 業	16,400
27 櫛引高齢者生活福祉センター事業	8,540
28 朝 日 地 域 福 祉 事 業	17,477
29 温 海 地 域 福 祉 事 業	26,895
30 温 海 居 宅 介 護 支 援 事 業	23,961
31 温 海 通 所 介 護 事 業	57,122
合 計	2,620,564

★ 高齢者福祉事業

「一人ひとりの人間の尊厳を守る介護」を基本理念として、利用者及び家族のニーズを的確に捉え、常に利用者の立場に立ったサービス提供に努めます。

また、地域全体の福祉の向上を図るため、各地域でサロンやミニデイサービス等を実施したり、介護予防・自立支援に向けた活動を行っています。

★ 障がい者福祉事業

平成十八年度、障害者自立支援法が施行され、障害者福祉計画に沿ったサービス提供をするための整備が必要とされています。

一人ひとりの自立支援を大切にしながら新事業への移行を進め、良質で適切なサービス提供に努めます。また、行政と連携を図りながら、快適な環境の提供に努め、地域生活を支援します。

★ 児童福祉事業

急速な少子化の進行や、児童を取り巻く環境の変化を踏まえ、地域と連携しながら、子どもの健全育成のため、安全で安心できる遊び場を提供します。

また、保育や育児相談などにより、子育て家庭への支援を行うとともに、これから親になる世代に対して子育てについて考える働きかけを行います。



楽しくお絵かきしている様子

地域福祉活動予算（再掲）

一般会計予算収入のうち、市民の皆様からいただきます会費等は、地域福祉活動、ボランティア活動を推進するために使わせていただいております。

収入

（単位：千円）

会費	35,251
寄付金	3,680
市・県社協補助金	125,446
市・県社協受託金	25,397
事業収入	14,999
共同募金配分金	16,000
介護保険事業充当	26,087
その他の収入	1,229
合計	248,089

支出

（単位：千円）

本部運営事業	66,830
福祉コミュニティづくり事業	11,415
高齢者等介護予防推進事業	2,924
ボランティア活動推進事業	6,037
福祉教育推進事業	1,129
障害者社会参加促進事業	3,825
介護予防・生活支援事業	2,845
鶴岡福祉バス事業	5,000
鶴岡地域福祉権利擁護事業	4,497
鶴岡たすけあい資金貸付事業	2,608
鶴岡高齢者福祉事業	12,491
福祉有償移送サービス事業	2,823
藤島支部運営・地域福祉事業	26,749
羽黒支部運営・地域福祉事業	28,803
鶴引支部運営・地域福祉事業	28,260
鶴引老人福祉センター運営事業	1,624
朝日支部運営・地域福祉事業	17,427
温海支部運営・地域福祉事業	26,245
合計	251,532

各福祉センターの活動紹介

羽黒 世代間交流の推進



小学生がミニデイサービスを訪問

羽黒福祉センターでは、子供たちが地域のおじいちゃんやおばあちゃんと交流する機会を、様々な事業の中に取り入れています。「ミニデイサービス利用者」と、小中学生・子育てサロン利用者、「おばあちゃんと中学生の畑づくり」、「お茶の間サロン利用者と子供たち」、「ボランティア交流会で高校生と地域の人たち」等々、子供たちが地域の大人たちとふれあって、何かを心と身体で覚えてもらえればと願いながら、今年度も交流事業を進めていきます。

朝日 「お茶のみサロン」活動の推進



お茶飲み談話室

朝日福祉センターでは、朝日地域全域の地域福祉について考える「地域福祉委員会」の機能充実に努めるとともに、身近な地域で身近な人と語り合い、ふれあう「お茶のみサロン」活動を自治会単位を基本に推進していきます。

また、互いにふれあい、学びあうことで個々の仲間づくり、生きがいづくりにつながるべく「趣味講座」を開催するなど、地域住民はもとより福祉関係機関等とも連携を密にしながら、協働して地域福祉を推進していきます。

藤島 ふれあいサロンの開催を応援します！



中町お茶のみサロンでの1コマ

藤島福祉センターでは、地域住民の方々と福祉関係機関・行政と連携した地域福祉活動（ふれあい給食交流、いきいきふれあいサロン）の充実に取り組みます。さらに昨年度に整備した老人福祉センターを地域の介護予防拠点施設として支援や介護が必要となるおそれの高い人や自立した生活をしている人を対象に「おたつしゃ大学」を実施します。

また、日常生活のあらゆる生活相談に応じる心配ごと相談所を開設します。

社協自主財源の使いみち

寄付金の使いみち 3,680千円

(単位:千円)

項 目	金 額
生活困窮旅行者一時援護費	500
指 定 寄 付 金	1,000
福祉コミュニティづくり事業	1,000
藤島地域福祉事業	50
羽黒地域福祉事業	300
櫛引地域福祉事業	200
朝日地域福祉事業	30
温海地域福祉事業	600
合 計	3,680

※指定寄付金とは、寄付者が使いみちを指定される寄付金のことです。

会費の使いみち 35,251千円

(単位:千円)

項 目	金 額
福祉コミュニティづくり事業	7,681
ボランティア活動推進事業	3,019
福祉教育推進事業	113
鶴岡地域福祉権利擁護事業	558
福祉有償移送サービス事業	1,300
藤島支部運営・地域福祉事業	4,320
羽黒支部運営・地域福祉事業	3,340
櫛引支部運営・地域福祉事業	3,330
朝日支部運営・地域福祉事業	2,580
温海支部運営・地域福祉事業	4,971
本 部 運 営 事 業	4,039
合 計	35,251

市民の皆様からいただきます会費、寄付金につきましては、次のように使わせていただきますので、今年度もご協力をお願いいたします。



車イスで乗れる移送サービスカー

温海 移送サービス事業の実施
温海福祉センターでは、バスやタクシーなどを利用することが難しく、車イスやストレッチャーを使用する高齢の方や障がいのある方の、医療機関の利用などをお手伝いする「移送サービス」を実施しています。
「移送サービス」は、平成十九年六月より、現在の市の委託事業から、道路運送法に基づいた福祉有償サービスに切り替わります。
移送における、地域の多様なニーズに対応し、利用者の社会参加を支援するため、円滑な事業の展開を図ります。



お花見会の様子

櫛引 「高齢者ミニデイサービス」
櫛引福祉センターでは、「ささえあい ほっとするまちくしびき」を運営方針に、誰もが地域の中で安全に安心して暮らすことのできる、住民主体のまちづくりを進めていきます。
今年度も、日中一人になることが多い介護保険のサービスを受けていない高齢者を対象に「高齢者ミニデイサービス事業」を行います。
恵まれた自然の中でお花見会や芋煮会等の行事、保育園児との交流、温泉施設での入浴等を通して健康で安らぎある生活をサポートします。



小学生と障害がある方とのふれあい交流会
(五学区コミュニティワーカーの活動より)

鶴岡 「コミュニティワーカー事業」
学区・地区社会福祉協議会と連携・協力しながら地域福祉活動を進めていきます。その際に、学区・地区社会福祉協議会にコミュニティワーカー(まちづくりの仕掛け人)を設置し、地域座談会の開催やボランティア活動の場の設定、また新たなお茶飲みサロンの設置に向けたお手伝いなど、地域が活性化し住みやすい地域になるような仕掛けをしていく人材の設置に向け、働きかけていきたいと思っています。

情報掲示板

平成19年度手話奉仕員 養成講座（入門課程）開催

ろう者のコミュニケーション手段のひとつである手話を学び、また聴覚障がい者の生活を知り、ろう者と手話で会話をしよう。

- 期 間 6月4日から12月17日までの毎週月曜日
(但し、祝日、8月13日は除く)
- 時 間 午後7時～9時
- 会 場 鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるま多目的ホール
- 費 用 1,200円(テキスト代)
- 対 象 手話をはじめて学ぶ人、手話奉仕員を目指したい人(20人)
- 締 切 5月29日(火)
- 申 込 鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるま
☎28-3136/FAX 29-2294

ボランティア大工さん募集

作業所月山では30坪ほどの工場(木造)を建設すべく「建築確認」を取りました。建築資材も準備しましたが、工事直前ボランティアで建ててくれる予定の大工さんが病気で寝込んでしまい困っています。第一線からリタイヤし、ボランティア(低額有給)で建物造りを楽しんでくれる大工さんを募っています。

自薦・他薦心当りの方も含めご紹介、ご連絡ください。

- 連絡先 作業所 月山
☎24-8541/FAX 24-8582

鶴岡市戦没者追悼式を行いました

鶴岡市戦没者追悼式が、4月24日、約250人の方々が参列する中、荘内神社参集殿で行われました。この追悼式は、鶴岡市社会福祉協議会、鶴岡市、鶴岡市遺族連合会が合同で主催し、戦没者の冥福を祈るとともに、平和への誓いを新たにしました。



鶴岡市ボランティア連絡協議会十周年記念 公開講演会 「ボランティアって楽しいよ」～いままでの人生が変わる～

- 日 時 5月27日(日)
午後2時30分開場 午後3時開演
- 場 所 鶴岡市農村センター
- 講 師 広瀬 隆人氏(宇都宮大学生涯学習研究センター教授)
- 入場料 無料
- 定 員 150人
- 申 込 電話またはFAXでお申し込みください
鶴岡市西新斎町14-26
鶴岡市ボランティア連絡協議会
☎23-2970/FAX23-9110



お知らせ

新移送車両
「おおぞら3号」
です!

高齢の方や障がいのある方の通院などをお手伝いする移送サービスの移送車両に、新しい車両が加わりました。新車両「おおぞら3号」は、鶴岡遊技業協同組合より鶴岡市へ寄贈されたもので、鶴岡市の福祉向上のため、温海福祉センターの移送サービスに、活用させていただいております。

ご寄付ありがとうございました

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センター

鶴岡ナイスフェローライオンズクラブ 会長 斎藤勝美 様 50,000円
鶴岡市朝市の会 様 12,582円 匿名 布団、食器等

◎藤島福祉センター

藤島小学校児童会 様
長沼小学校児童会 様
渡前小学校児童会 様
匿名 車椅子 1台
タオル100枚

◎羽黒福祉センター

第19回羽黒老人福祉大学院 同級会 様 1,000円

◎榊引福祉センター

加藤 憲二 様 50,000円

◎温海福祉センター

本間 多喜雄 様 20,000円
三浦 茂光 様 30,000円
佐藤 三郎 様 100,000円

ご寄付ありがとうございました

○寄付者名(平成19年2月21日～平成19年4月20日)

★高齢者福祉センターおおよまへ

小池 重太郎 様 お雛様(一式)

★大山児童館へ

工藤 綾子 様 百科事典
今野 昭二 様 百科事典

★榊引すこやかセンターへ

鶴岡市榊引地域婦人会 タオル・オムツ

この四月に前恩田事務局長の後を引継いでから、早いもので一月半が経過しました。この間各分野で福祉の向上に頑張っておられる方々とお会いして、改めて市社協が果たす役割の重要性和職責の重さを痛感しております。素より微力ではございますが、社会情勢が大きく変化する中で、実態を把握しながら、適切な事務事業の実施による経営の健全化と地域の実情に即した福祉活動の推進、福祉コミュニティづくりに取り組んで参りますので、皆様のご指導とご協力をよろしくお願い申し上げます。



鶴岡市社会福祉協議会
事務局長 中村 真一

新任あいさつ
事務局長

この広報紙は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。